

露型PWRの英国導入で協力

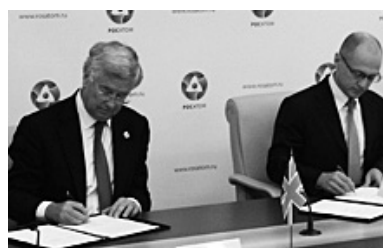
英国のロールスロイス社とフィンランドのフォーラム社は五日、第三世代PWRのロシア型PWR(VVER)を英国で建設・操業する機会の可能性評価でロシアのロシア原子力社と協力合意に達したと発表した。同日、ロシア原子力は英国のエネルギー気候変動省(DEC)と原子力平和利用分野の協力了解覚書に調印。同国の包括的設計審査(GDA)をすでにパスした仏アレバ社製EPRや四月に審査が始まった日立GE社のABWRなどに続き、VVERで同審査とサイト認可に向けた準備が開始される見通しとなった。

ロールスロイス社は英国政府の「先進原子力機器製造研究センター」で産業界側の代表を務めるほか、原子力平和利用分野では最新式計装制御(I&C)技術等の供給で諸外国と契約した実績を持つ。ロシア原子力社とは二〇一一年九月、キャメロン首相

東芝は九日、米国の大手電気事業者のエクセル・ニュークリア・パワートナース(ENP)社および傘下のウェスチングハウス(WH)社とともに、サウジアラビアに対して原子力発電所の新規建設に向けた共同提案を行うこと(合意)、契約を締結したと発表した。二〇一〇年七月にENP社と結んだ共同提案体制にWH社を加えることで、ABWRのほかPI100という提案選肢の可能性を確保する。三二年度までに十基の原子炉建設を検討するサウジからの受注を目指して盤石な体制を整えている。

にフィンランド議会から否決されたが、原子力安全や廃棄物管理の分野で蓄積してきた専門的知見を生かし、英国にVVERを建設するための準備・分析作業や建設サイトでの認可を受ける可能性の評価などロシア原子力社の新設計画全体を支援していく。ただし今回、英国の新設プログラムに対する投資については、現時点でも決定していない点を強調している。

原子力平和利用分野におけるロシア原子力社とDECの協力覚書には、同社のS・キリエンコ総裁とDECのM・ファロン・エネルギー担当閣外相がモスクワで調印した。



協力覚書に署名するロシア原子力社と英国政府の代表

株主に投資決定提案へ

フェノボイマ社のハンヒキビ計画

フィンランドのビュハヨキでハンヒキビ原子力発電所1号機の建設を計画しているフェノボイマ社は三日、年末までにロシアのロスアトム社製原子炉設計に対する投資を決定するとともに原子炉供給契約を締結するた

今回の契約では、東芝とWH社が機器の設計・技術を担当する一方、全米で一千七百万kWの原子力発電設備を操業するエクセル社の子会社であるENP社が原子炉の運転関連サービスを担当。米国の設計認証(DC)を取得済みの上、日本、東芝が受注に向け新体制で安全な稼働実績を有する

今年四月現在、原子力開拓は約一億七千万ドルと試算。雇用も七万人分が創出されると予測している。

サウジの導入計画、来年設計選定
第三世代のABWRと受動的安全系を備えた第三世代プラスのAPI100を共同提案していく。なお、未確認の報道によると、同日に日立ニュークリア・エナジー(GEH)社もENP社と同様の覚書を締結。サウジにGEHが受注し、原子力平和利用分野の競争を激化させる見込みだ。

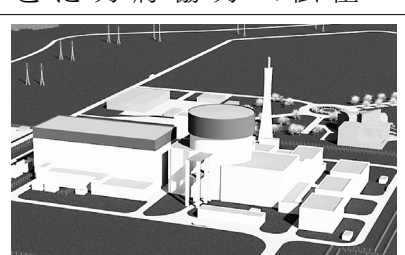
今年四月現在、原子力開拓は約一億七千万ドルと試算。雇用も七万人分が創出されると予測している。

出基盤の整備を計画して保証される環境を生み出している指摘した。ロシア原子力社は同社の最新型VVERについて、動的および静的システムを組み合わせた独自の安全系を装備していると強調。外部電源や冷却水の供給が途絶した場合でも環境の安全性は十分保たれると保証している。

両者はその後の協議の結果、株主に対する今回の提案のほか、同社の発電開始時期を二〇二四年とするなど意見が一致。同時に、今後の詳細なプロジェクト日程や資金調達の準備、および独立したフェノボイマ社株主が昨年十月に手放したフェノボイマ社が三四%をロスアトム社が購入する件についても、詰めていくとしている。

ユツカ審査再開で意見募集
米規制委員会は八月三十日、ネバダ州ユツカマウンテンにおける高レベル放射性廃棄物(HLW)および使用済み燃料最終処分場計画の建設認可申請審査をどのように再開すべきか、九月三十日までの三十日間に意見を寄せるよう関係者に要請した。

八月十三日にロンドン特別区の連邦巡回控訴裁判所がNRCに審査の再開を指示したことを受けたもの。NRCは二〇一二会計年度で審査予算が付かなかったことを理由として、審査活動を終了したが、この時点で少なくとも一千万ドルが残っていた。そのため、同裁判所は法的に義務付けられた認可プロセスを速やかに継続するようNRCに要求する職務執行命令を裁定。同命令は三日付で発効しており、NRCは予算を最も効果的に生産的に活用するため、裁判に関わった人々からの意見募集を決めた。



ハンヒキビの完成予想図

NOW PUBLISHED

YOUR GUIDE TO NUCLEAR ENERGY LAW
THE LAW OF NUCLEAR ENERGY

Author: Helen Cook
Editor: George Borovas

ISBN: 9780414023154
£220

Whatever area you work in – development, finance or research – we can help you understand the ins and outs of **The Law of Nuclear Energy**.

The new title:

- Examines the International Atomic Energy Agency (IAEA) guidelines
- Covers the content of international and national nuclear energy law and gives insight into possible future development to existing legislative and regulatory infrastructure
- Discusses how to implement the obligations contained in the international treaties and conventions at a national level

- Examines cross-border issues such as nuclear liability and export controls
- Covers the procurement phase for nuclear construction
- Describes the construction process and key contractual provisions, including licensing and permitting, dispute management and avoidance
- Discusses small modular nuclear reactors, including the potential benefits and legal challenges
- Considers traditional and new approaches to nuclear financing
- Considers future issues in nuclear law, including in response to new nuclear technologies

sweetandmaxwell.co.uk • TRLUKI.intlorders@thomsonreuters.com • +44 (0)1264 388560
Quoting reference: 1050208A

SWEET & MAXWELL

THOMSON REUTERS